

(様式1)

平成28年度「福井ふるさと元気宣言」推進に係る政策合意の実施結果  
(平成29年3月末現在)

「福井ふるさと元気宣言」の4つのビジョンを着実に実現していくため、平成28年4月に知事と合意した「政策合意」の実施結果について、次のとおり報告します。

平成29年3月

観光営業部長 佐々木 康男

項目	実施結果
<p>1 高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略 ◇「幸福日本一・福井」の新ブランド戦略【部局連携】 ○「福井の知名度・好感度」全国上位へ ・幸福度日本一「FUKUI HAPPINESS」や恐竜王国を強く打ち出しながら、県民や企業と共動し、福井ならではの自然、歴史・文化、食などの魅力をインターネットや雑誌、ポスター等で国内外に広く発信します。 (平成27年度 知名度・好感度 31位「地域ブランド調査2015 魅力度順位」)</p> <p>知名度・好感度 25位</p>	<p>〔成果等〕 目標にはいたりませんでした。</p> <p>本県のダントツブランドである「恐竜」を活かし、県外の博物館、美術館、関西の大型ショッピングセンター等で恐竜骨格標本の展示を行うなどプロモーションを全国各地で実施したほか、大手菓子メーカーや宅配企業、有名キャラクターなどとのコラボ商品を開発し「恐竜王国福井」を県内外に発信しました。</p> <p>また、首都圏の約120のJR駅に、年4回「FUKUI HAPPINESS」シリーズの観光ポスターを掲出したほか、首都圏および北陸新幹線沿線において、年間を通じた多様なプロモーションを実施し、本県を広くPRしました。</p> <p>さらに、食のセレクトショップ「DEAN&amp;DELUCA」やJR大阪駅近くの「グランフロント大阪」での「福井フェア」開催を通じ、福井の食・食文化の魅力を全国に発信しました。</p> <p>外国人誘客ブランド“ZEN”を活かしたブローチャー等を制作するとともに、航空会社と連携し、機内誌や機内でのPRビデオの放映などにより、海外への発信を強化しました。</p> <p>知名度・好感度 41位</p> <p>※ブランド総合研究所「地域ブランド調査2016」結果</p>

(様式1)

項目	実施結果
<p>○福井が舞台の「大河ドラマ」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>平成30年における福井が舞台の大河ドラマの実現に向け、大河ドラマ誘致推進協議会を中心に、NHKへ強力に働きかけます。</li><li>由利公正の功績等を紹介する映像の制作やシンポジウム等の開催のほか、市町や団体・企業等とともに機運醸成、知名度向上のための活動を年度前半に集中して実施します。</li></ul>	<p>〔成果等〕 引き続き実施します。</p> <p>NHK会長や役員等に対して要望を行うとともに、様々な関係者に対して情報提供を行いNHKへの働きかけを要請しました。</p> <p>大河ドラマの誘致や由利公正をはじめとする福井の先人に関する講演会・イベント等を開催したほか、由利を紹介するパンフレットやDVDを制作しPR等を行うことにより、県内の機運醸成、県内外への知名度向上を図りました。</p> <p>平成30年は「西郷どん」、平成31年はオリンピックを題材としたドラマに決定しましたが、今後は、戦国や幕末明治に活躍した先人が主人公となり、福井県の先人が数多く登場するドラマの実現を目指していきます。</p> <p>〔戦国〕 朝倉義景、柴田勝家・お市の方など、動乱の世に輝いた人物 〔幕末明治〕 由利公正、橋本左内など、新しい時代を切り開いた人物</p>
<p>○福井のアニバーサリー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>明治維新150年となる平成30年に向け、幕末明治期の本県偉人の功績の検証や発信を行い、県民のふるさと福井に対する自信と誇りを醸成します。</li><li>県民が幅広く参加するアニバーサリー事業（「ふくい幕末維新博（仮称）」の開催等）の平成30年の実施に向けて準備を進めます。</li></ul>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>幕末明治期の本県の先人に関するリレー講演会を3回開催したほか、時代考証学会と協力したシンポジウムを開催し、県民のふるさと福井に対する自信と誇りを醸成しました。</p> <p>幕末明治福井150年博（仮称）の平成30年の実現に向け、17市町、商工・観光団体等により構成する準備委員会において、実施基本計画（案）を策定しました。</p> <p>また、平成30年に向けて、3月に機運醸成イベント「ニッポンの夜明けは福井から」を開催し、県民の幕末明治150年への関心を高めました。</p>

項目	実施結果
<p>◇「恐竜渓谷100万人構想」の実現【部局連携】</p> <p>○楽しみ学べる恐竜博物館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国内初となる草食恐竜「ヘスペロサウルス」や大型のヨロイ竜「エドモントニア」などの実物全身骨格の組立作業の公開も含め、「本物の魅力」による展示のスケールアップを図ります。(平成27年度恐竜博物館入館者数93万1千人)</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>恐竜博物館入館者数 100万人</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第2恐竜博物館について、有識者による委員会を設置し、施設の機能や構成、整備・運営のあり方等の検討を進め、年度末までに基本構想・計画を策定します。並行して、民間事業者が参画可能な事業内容や整備運営スキームを調査します。</li> </ul>	<p>[成果等] 目標を一部達成しませんでした。</p> <p>一昨年10月に榊原から購入した骨格標本等34点の中から、今年1月に、世界初となる草食恐竜「ヘスペロサウルス」や国内初となる大型のヨロイ竜「エドモントニア」の実物全身骨格等14点の設置・組み上げ作業等を一般公開し、2月から常設展示しました。</p> <p>こういった展示のスケールアップに加え、岐阜県博物館や徳島県立博物館、広島県立美術館での恐竜骨格標本の展示や、イオングループとのコラボによる関西の大規模5店舗での恐竜PRイベントの開催、JR東日本グループとのコラボによる恐竜をテーマにした駅弁の開発、販売など、民間との共動による様々な宣伝・誘客活動により、恐竜博物館の入館者数は、90万1千人(昨年に比べ96.8%)と、過去最高を記録した昨年と同水準を維持しています。</p> <p style="text-align: center;"><b>恐竜博物館入館者数 90万1千人</b></p> <p>7月に、博物館運営や展示、観光等の専門家による基本構想・計画策定委員会を設置し、5回委員会を開催しました。</p> <p>恐竜博物館の現状を整理したうえで、恐竜博物館との関係性や第2恐竜博物館(仮称)の必要性、基本理念や機能などの基本的な考え方について検討し、この検討内容をもとに、基本構想を取りまとめました。</p>
<p>○恐竜学研究の世界拠点へ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第4次恐竜化石発掘調査や国内外の共同発掘調査・研究を継続して進めます。また、6月に日本古生物学会を開催し、本県の恐竜研究が世界トップレベルであることをアピールし、アジアにおける恐竜研究の拠点としての地位を確立します。</li> </ul>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>4年目となる第4次発掘調査を8月1日から9月10日まで実施し、イグアノドン類の頭骨の一部や腕の骨、獣脚類の下顎の一部の骨、竜脚類の中足の骨など、国内初となる部位の骨が多数発見されました。</p> <p>また、2月には、本県で発見された5種類の新種の恐竜化石群とその発掘現場が、恐竜化石としては、全国で初めて天然記念物の指定を受けました。</p> <p>6月、日本古生物学会が県立大学と恐竜博物館で開催され、国内外の第一線の研究者約300人が参加しました。</p> <p>学会では、恐竜博物館の研究員が、勝山市で発見された国内初となる恐竜時代の哺乳類の骨格化石について発表するなど、本県の研究レベルの高さをアピールしました。</p>

項目	実施結果
<p>○ジュラチックによる恐竜ビジネスの拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業等に対する営業活動の強化や新たな企業とのコラボにより、公式恐竜ブランドキャラクター「ジュラチック」を活用した商品の開発・販売を拡大します。</li> <li>「ジュラチック」をPRする学生等によるサークルの組織化やイベントでの成果発表等を促進し、県民へ「ジュラチック」を普及します。</li> </ul>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>大手菓子メーカー・カバヤ食品とのコラボ商品「ほねほねザウルス」を販売し、13万5千個が完売しました。</p> <p>また、サンリオ「ハローキティ」とコラボし、羽二重餅や水ようかん、クリアファイル、キーホルダー等の商品を販売しました。</p> <p>さらに、宅配便最大手・ヤマト運輸とコラボし、「ジュラチック」等が掲載されている宅配用の手提げ袋やご当地ボックスを販売するなど「ジュラチック」を活用した商品の開発・販売を拡大しました。</p> <p>学生が取材した「ジュラチック新聞」を、5、12月に発刊したほか、2月には、幼児教育を学ぶ学生が、「ジュラチック」を主人公にしたオリジナル寸劇をつくり、幼児向けに発表会を行うなど、学生による県民への普及が進みました。</p>
<p>◇観光フロンティア・福井【部局連携】</p> <p>○100万人観光地の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>永平寺門前や今庄宿、小浜西組周辺など県内5地区で継続して実施している「観光まちなみ魅力アップ事業」を着実に推進します。</li> <li>さらなる観光誘客や観光消費額の拡大を図るため、核となる観光地等の魅力向上や二次交通の充実などを盛り込んだ「周遊・滞在型観光推進エリア」を創出する計画を県内6エリアで策定します。</li> <li>京都府、滋賀県とともに「広域観光推進協議会（仮称）」を設立するほか、岐阜県や石川県等との連携強化により、広域周遊観光を推進し、国内外からの誘客拡大につなげます。 (平成27年 100万人観光地 4か所)</li> </ul> <p>100万人観光地 1か所増 5か所</p>	<p>〔成果等〕 目標を一部達成しませんでした。</p> <p>明治時代の芝居小屋を復原した「小浜市まちの駅」が平成28年5月1日にオープンしました。</p> <p>また、今庄宿（南越前町）では、JR今庄駅舎を歴史や魅力を映像や模型等で紹介する観光情報発信の拠点として整備し、平成29年3月26日にオープンしました。</p> <p>このほか、あわら温泉街の街路整備、永平寺門前の旧参道等の整備、若狭町縄文ロマンパークの整備などを進めました。</p> <p>県内での滞在時間や宿泊数を伸ばし、観光誘客や観光消費額の拡大につなげていくため、県内6エリアで複数市町が連携し、周遊・滞在型観光推進計画を策定しました。</p> <p>今後、計画に基づく市町等のソフト事業やハード事業を支援します。</p> <p>福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会を平成29年3月22日に設立しました。</p> <p>また、平成29年の泰澄白山開山1300年にあわせ、石川県、岐阜県等と連携し、白山1300年や広域観光をPRする冊子の発行や共同PR等の実施など、誘客キャンペーンの準備を進めました。</p> <p>100万人観光地 1か所減 累計3か所</p>

項目	実施結果
<p><b>○観光客1300万人の実現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北陸新幹線金沢開業による観光客の増加傾向を維持・拡大するため、民間事業者ともコラボし、引き続き上野駅など首都圏や新幹線沿線において、集中プロモーションや魅力発信の事業を効果的に実施します。</li> <li>北陸への誘客拡大を進めるため、北陸三県とJRが共同した誘客キャンペーンを10～12月に実施します。それに先立ち、大阪駅での北陸フェア（仮称）の開催やツーリズムEXPOへの出展など、誘客PRを実施します。</li> <li>若狭さとうみハイウェイや京都縦貫自動車道を活用して誘客拡大を図るため、昨年に引き続き、京都府、滋賀県等と連携した高速道路定額乗り放題プランや、嶺南6市町とともに展開する「海湖と歴史の若狭路」キャンペーンを実施します。</li> <li>若狭路が有する貴重な資源や特性を活かした周遊観光を推進するため、日本遺産「御食国若狭と鯖街道」を活用した旅行商品の造成を促進します。</li> <li>その土地ならではの歴史・文化、食、里山里海湖、産業、体験など特色ある資源を磨き上げ、組み合わせ、新たな発見や感動を生む「福井ならではの」ツーリズムを推進します。</li> <li>小松空港を利用した誘客拡大を図るため、機内誌での観光地紹介や機内での福井の料理の提供など、航空会社と連携した誘客プロモーションを実施します。</li> </ul>	<p>〔成果等〕目標を一部達成しませんでした。</p> <p>首都圏および北陸新幹線沿線において、年間を通した多様なプロモーションを実施しました。</p> <p>ゴールデンウィークには東京都庁および長野県の恐竜展での観光PR、7月からは東京 目黒雅叙園での「和のあかり×百段階段展」に墨絵作家 西元祐貴氏、県和紙工業協同組合とコラボし、越前和紙を活かした誘客プロモーションを実施しました。</p> <p>また、平成28年8月にはJR上野駅で、平成29年1月にはJR大宮駅で大型フラッグ広告や恐竜骨格を活用した出向宣伝などを実施しました。</p> <p>さらに、首都圏の約120のJR駅に、年4回「FUKUI HAPPINESS」シリーズの観光ポスターを掲出し、本県の観光PRと認知度の向上を図りました。</p> <p>北陸3県とJRグループなどとの共同で、平成28年10月から11月まで「日本の美は、北陸にあり。」キャンペーン（アフターDC）を、また、12月から3月までの4か月間、「Japanese Beauty Hokuriku」キャンペーンを開催しました。</p> <p>それに先立ち9月23～25日に東京ビッグサイトで開催された「ツーリズム EXPO ジャパン」で北陸三県ブースを出展したほか、1月には大阪で「冬の北陸美食フェア in 大阪」を開催し、本県への誘客を図りました。</p> <p>7月から11月までの5か月間、「海湖と歴史の若狭路」キャンペーンの第3弾を嶺南市町とともに開催しました。</p> <p>日本遺産「御食国と鯖街道」をはじめ、若狭の海湖をクルーズ船で楽しむ「若狭 ベイ・クルーズ+1キャンペーン」によるPRなどにより、誘客拡大や周遊促進を図りました。</p> <p>あわせて、滋賀県、京都府等と連携した高速道路企画割引を実施しました。</p> <p>市町と連携し、秘仏を巡るツアーバスの運行や日本遺産と「食」を楽しむツアー、鯖街道を歩くツアーなど、様々な旅行商品を造成し、集客を図るとともに、日本遺産「御食国若狭と鯖街道」の認知度アップに努めました。</p> <p>市町や地元事業者等と協力し、旧北陸本線トンネル群を巡る旅や越前和紙や打刃物、漆器などの伝統産業を体験する旅など、学びと体験を取り入れた「福井ならではの」のツアーを実施しました。</p> <p>また、それらの素材を活かした「ウォークツアー」の実施などを旅行会社に働きかけ、新たな観光コースを設定しました。</p> <p>航空会社と連携し、機内誌での特集記事の掲載、機内での観光PRビデオの放映、機内食での福井の料理提供を実施しました。</p> <p>また、石川県と連携し、羽田ー小松便を利用した旅行商品の造成を支援しました。</p>

(様式1)

項 目	実 施 結 果
<p>・観光施設や文化施設、各種イベント等において、観光客が地域の特産品等を購入できる機会を拡大します。 (平成 27 年 観光客入込数 1,270 万人 観光消費額 937 億円)</p> <p style="text-align: right;">観光客入込数 1,300 万人 観光消費額 1,000 億円</p>	<p>福井県物産協会と連携し、サンドーム福井などにおいて開催される大規模なイベント、会議などにおいて県産品の販売コーナーを設置し、県内外からの来客者に県内企業が福井県の土産品などの販売を行いました。</p> <p style="text-align: right;">観光客入込数 1,270 万人 (見込み) 観光消費額 937 億円 (見込み)</p>
<p>○奥越を自然環境の体験学習エリアに</p> <p>・六呂師高原を通年型の体験観光エリアにするため、大野市や勝山市、民間と共働して、スキーパークの整備や奥越高原牧場など既存施設の機能強化を行うほか、ふるさと学びの森などを使った体験活動の充実を図り、奥越の観光拠点として再整備します。 (平成 27 年 六呂師高原入込客数 161,000 人)</p> <p style="text-align: right;">六呂師高原入込客数 180,000 人</p>	<p>[成果等] 目標を一部達成しませんでした。</p> <p>閉鎖されていたスキー場のゲレンデを活かして、スキーエリア、そりエリアを整備し、1月21日から営業を開始しました。</p> <p>また、大野市が温浴施設うらら館を2月11日にプレオープン、3月1日に本格オープンしました。</p> <p>高原エリアの各施設では、奥越高原牧場の生乳を活用した新商品の開発や、体験メニューの充実を進めるなど、六呂師高原の関係者が連携し、「通年型・滞在型の体験学習・スポーツエリア」を目指し、魅力を高めました。</p> <p style="text-align: right;">六呂師高原入込客数 133,000 人 (見込み)</p>

項 目	実 施 結 果
<p><b>○海外誘客の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アジアからの団体客に加え、欧州等からの個人客を呼び込むため、“ZEN”を中核に据えた新たな外国人誘客ブランドを活用し、海外の旅行会社への営業や海外旅行博への出展等を行います。</li> <li>航空会社と連携し、外国人観光客向けに「福井ならではの」の伝統体験や交流メニューを作成し、インターネット等により海外に向けて発信します。</li> <li>食・食文化を活かした誘客を拡大するため、精進料理や和菓子など「伝統の福井和食」の文化を学び、調理体験等ができる店舗づくりを支援します。</li> <li>中部広域観光推進協議会が進める「昇龍道」や、関西国際観光推進本部が進める「美の伝説」プロジェクト等に参画し、近隣府県と連携して誘客拡大を図ります。 (平成27年外国人宿泊者数 56,000人)</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>外国人宿泊者数 80,000人</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>通訳案内士による協議会設立について支援するとともに、簡単な解説や案内ができる通訳ボランティアを養成します。</li> <li>外国人受入環境の整備のため、消費税免税店の開設支援や、観光事業者等を対象にした外国人接客のための研修会を実施します。 (平成27年度 消費税免税店数 29店)</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>消費税免税店 21店増 累計 50店</b></p>	<p>〔成果等〕 目標を一部達成しませんでした。</p> <p>外国人誘客ブランド“ZEN”を売り込むためのツールとしてブローチャー等を制作しました。台湾、香港、タイなどのアジアのほか、欧米からの誘客拡大を図るため、海外旅行博への出展や現地旅行会社への訪問営業、メディアの取材支援など誘客宣伝を行いました。</p> <p>外国人観光客が県内で楽しめる体験・交流メニュー（70項目）について、航空会社の訪日外国人向け観光情報サイト等で発信しました。</p> <p>外国人が「そば打ち」や「郷土料理（葉ずし、呉汁等）づくり」など福井の伝統的な食や食文化を学び、調理体験ができるよう店舗（5店舗）の受入体制の整備を支援し、外国人観光客の受け入れを開始しました。</p> <p>「昇龍道」や「美の伝説」など本県を含む広域観光ルートアジアや欧州での海外旅行博で売り込んだほか、海外旅行会社等の県内観光地視察やメディアの取材について支援するなど、近隣県とともに誘客宣伝活動を実施しました。</p> <p style="text-align: center;"><b>外国人宿泊者数 54,000人（速報値）</b></p> <p>7月の通訳案内士協会設立に際して、特に外国人のニーズの高い永平寺内で通訳案内業務ができるよう、連絡・調整を行うなど支援を実施しました。また、通訳ができるボランティアを養成するため、おもてなし外国語ボランティア講座を4回開催しました。</p> <p>消費税免税店開設経費への支援を実施したほか、航空会社と連携して県内観光事業者向け外国人接客研修を福井市および美浜町で実施しました。県内での多言語対応の促進のため、観光地や特産品などの対訳表と、簡易な会話の指さしコミュニケーションシートを作成しました。</p> <p style="text-align: center;"><b>消費税免税店数 26店増 累計 55店 (平成28年10月1日現在)</b></p>

項目	実施結果
<p><b>○観光人材の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福井県観光アカデミーを引き続き開講し、本県観光におけるイノベーションを創出するため、現場感覚と理念の両方を持って、観光産業やまちづくりをマネジメントできる人材を育成します。</li> <li>福井県認定観光ガイド養成講習会を開設し、多彩な観光コースの提案が行える人材を育成し、道の駅や観光案内所などでの活動を促進します。</li> </ul>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>「福井県観光アカデミー」を昨年度に続いて開講し、誘客に向けたマーケティングや観光地を持続的に発展させるための経営手法など、全10回の実践的な講義を実施しました。</p> <p>県内各地の市町や観光団体、観光事業者など32名が5エリアに分かれ、各エリアの観光振興策を観光関係者に対してプレゼンテーションしました。</p> <p>県内の道の駅や観光案内所などで、観光客に宿泊施設やおすすめの食事場所を交えた観光コースの提案等が行える人材を育成するため、本年度から福井県認定観光ガイド養成講習会を開催し、県内各地から44名が講習を受講しました。</p> <p>認定試験を合格した38人が福井県認定観光ガイドとして県内各地で観光客に対する案内等を実施し、来訪者の満足度を高めます。</p>
<p><b>2 「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ</b></p> <p>◇「ふくい食ブランド」を地消・外商【部局連携】</p> <p><b>○海外に売り込む「福井の食」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ミラノ国際博覧会の成果を活かし、食や伝統工芸品の事業者や行政等が一体となって「FOODEX JAPAN」など食の商談会・展示会等に出展し、国内外のバイヤーへの販促や福井の食・食文化のPRを強化します。</li> <li>観光、商工、農林水産業の関係者が一体となり、「ふくい食輸出サポートセンター」による台湾での物産展を開催することなどによって、新たに輸出に取り組む県内企業を増やし、食品輸出額を拡大します。 (平成27年度 県内企業 21事業者)</li> </ul> <p><b>新たに輸出に取り組む県内企業 3事業者増 累計24事業者</b></p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>食のセレクトショップ「DEAN&amp;DELUCA」(1月)やJR大阪駅近くの「グランフロント大阪」(2月～3月)において「福井フェア」を開催し、事業者によるPR販売や、精進料理、伝統工芸品等のPR、県産食材を使用したオリジナル料理の提供などにより、福井の食・食文化の魅力を全国に発信しました。</p> <p>また3月に、食の見本市「FOODEX JAPAN」に出展し、県と事業者が一体となって、本県の食や伝統工芸品を国内外のバイヤーに売り込みました。</p> <p>台湾の高級スーパー「裕毛屋」で開催した福井県物産展において7社が出展し、実演・試食販売を積極的に実施するなど、県や事業者が一体となり福井の食や観光地をアジアの富裕層に売り込みました。</p> <p><b>新たに輸出に取り組む県内企業 3事業者増 累計24事業者</b></p>

(様式1)

項目	実施結果
<p><b>3 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に</b>  <b>◇福井の文化をもっと身近に</b>  <b>○子どもの文化・芸術活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学5年生全員を県立音楽堂での本格的なオーケストラコンサートに招くほか、福井ゆかりのプロの演奏家を派遣する「出張音楽堂」を、中学校に加え、新たに小学校の連合音楽会等でも開催し、本物の芸術文化に触れる機会を提供します。</li> <li>学校鑑賞会として県文化施設の企画展に児童生徒を招くほか、美術、書道、演劇等の分野において、中高生が一流の芸術家から直接指導を受ける機会を提供します。 (平成27年度 一流の芸術・文化を体験する子どもの数 77,000人)</li> </ul> <p><b>一流の芸術・文化を体験する子どもの数 78,000人</b></p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>県立音楽堂において、小学5年生全員が本格的なプロオーケストラを鑑賞する「ふれあい文化子どもスクール」(7,040人参加)を開催しました。</p> <p>また、2年目となる「出張音楽堂」は、昨年度に引き続き、福井ゆかりのプロの演奏家を中学校に派遣したほか、今年度から新たに小学校の連合音楽会にも演奏家を派遣し、小中学校併せて年間42回(12,992人参加)のコンサートを開催し、子どもたちが本物の芸術文化に触れる機会を提供しました。</p> <p>県立美術館などでの学校鑑賞会(8,295人参加)や、県立美術館所蔵の屏風絵「落葉」のレプリカを活用した出前授業(1,905人参加)を開催し、小中学生が芸術文化に親しみ、関心を深める機会を提供しました。</p> <p>また、福井の芸術文化を担う人材を育成するため、美術、書道、演劇、合唱、管弦楽などの分野において、中・高校生が一流の芸術家から直接指導を受ける「ヤング・アート・キャンプ」(1,325人参加)を実施しました。</p> <p><b>一流の芸術・文化を体験する子どもの数 78,175人</b></p>
<p><b>○若者文化の活動を応援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ストリートでのミュージックやダンスといったパフォーマンス、アニメなどの若者文化について、市町と共働し、実態把握に努めるとともに、活動や発表の場の確保等を通して、若者の活動を応援します。</li> </ul>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>ストリートでのミュージックやダンスといったパフォーマンス、アニメなどの若者文化活動について、市町への調査を実施し、実態把握に努めるとともに、若者文化活動で利用されている施設やイベントの情報をホームページで発信しました。</p>

(様式1)

項目	実施結果
<p><b>○文化施設の活性化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研究者など外部協力者からの情報を収集しながら、県外に所蔵されている福井ゆかりの美術品等の蒐集を進めるとともに、幕末から明治期等における古文書、書簡等の文献資料等の充実を図ります。</li> </ul> <p><b>(美術館)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岩佐又兵衛福井移住400年を記念した「岩佐又兵衛展」や近代フランス美術を華やかに彩った作家の名品を一堂に公開する「ランス美術館展」を開催するなど、県内外からの誘客を進めます。 (平成25年度～27年度の平均 美術館の入館者数 235,824人)</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>美術館の入館者数 240,000人</b></p> <p><b>(若狭歴史博物館)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平城京跡出土の若狭との関係を物語る木簡や放生祭など有形・無形の貴重な文化財とその保護に関わる歴史を紹介する企画展「若狭のたから～知る・護る・繋ぐ～」を開催し、特色ある若狭の歴史・文化を県内外に強力に発信します。 (平成27年度 若狭歴史博物館の入館者数 59,286人)</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>若狭歴史博物館の入館者数 70,000人</b></p> <p><b>(歴史博物館)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本県の婚礼儀礼の歴史などを紹介する「ふくいの婚礼」展、福井城跡の発掘調査の出土資料や絵図をもとに紹介する「城下町・福井の町と人」展を開催し、本県の歴史・文化遺産の価値や魅力を発信し、県内外からの誘客を進めます。 (平成25年度～27年度の平均 歴史博物館の入館者数 91,671人)</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>歴史博物館の入館者数 100,000人</b></p>	<p>[成果等] 目標にはいたりませんでした。</p> <p>橋本左内自筆書幅、由利公正筆扁額、小浜城下蘇洞門景観図など5件の重要資料を購入により蒐集しました。</p> <p>美術館では、夏休み期間中に福井移住400年を記念した「岩佐又兵衛展」を開催しました。国宝「洛中洛外図屏風」のほか、「豊国祭礼図屏風」「花見遊楽図屏風」の三大傑作屏風や百年ぶりの金谷屏風10図の一堂公開、絢爛豪華で華麗なる物語絵巻など、天才絵師の魅力あふれる作品を堪能いただきました。</p> <p>11月からは、「ランス美術館展」を開催し、シャンパンの富がもたらす幅広いコレクションで世界的に知られるランス美術館から、17世紀から20世紀にわたるダヴィッドからピサロ、ゴッガン、藤田嗣治などの華麗なるフランス絵画を公開し、県内外からの誘客を図りました。</p> <p style="text-align: center;"><b>美術館の入館者数 198,802人</b></p> <p>若狭歴史博物館では、10月末から12月にかけて「若狭のたから～知る・まもる・つなぐ」を開催しました。古代から現代まで守り伝えてきた若狭地域の有形・無形の文化財など約530点を一堂に公開し、若狭地域の特色や歴史文化の魅力を県内外に発信しました。</p> <p style="text-align: center;"><b>若狭歴史博物館の入館者数 60,680人</b></p> <p>夏季企画展「ふくいの婚礼」展では、本県の婚礼の歴史や特徴、変遷を実物資料や写真、映像などで紹介しました。</p> <p>秋季特別展「城下町・福井の町と人」では、27年ぶりの公開となる「慶長 越前国絵図」、福井城跡の発掘調査の成果など約100点の資料をもとに、越前松平家の城下町・福井の歴史と人々の暮らしを紹介し、誘客拡大を図りました。</p> <p style="text-align: center;"><b>歴史博物館の入館者数 98,144人</b></p>

項 目	実 施 結 果
<p><b>4 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に</b></p> <p>◇福井が誇る歴史遺産の発信</p> <p>○日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成32年度夏の開館に向けて、一乗谷朝倉氏遺跡博物館(仮称)「展示・ガイダンス棟」の基本設計(建築・展示)を作成します。</li> <li>日本トップレベルの中世都市遺跡研究の拠点化を進めるため、考古、文献、建築史、庭園史などの分野を超えた学際的な研究の推進に向けた具体的な検討を進めます。</li> <li>特別名勝庭園の再生・観賞化に向けた調査や復原町並での戦国城下町の人々の生活再現などを実施し、スケール感のある本物の歴史空間としての整備を進めます。</li> <li>県と福井市との間で、業務や役割を十分に協議し、推進体制の強化を図り、ミュージアム化のスピードアップを図ります。 (平成25年度～27年度の平均 一乗谷朝倉氏遺跡資料館の入館者数 55,635人)</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>一乗谷朝倉氏遺跡資料館の入館者数 60,000人</b></p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>一乗谷朝倉氏遺跡博物館(仮称)「展示・ガイダンス棟」の基本設計(展示)を作成しました。基本設計(建築)については、建築建設予定地で発見された戦国時代の石垣の一部などの活用や保存の方策を検討することとし、平成33年度中の開館を目指して平成29年度に実施します。</p> <p>また、様々な分野の専門家の意見を聞きながら、中世都市遺跡研究の拠点化に向け具体的な検討を進めました。</p> <p>一乗谷朝倉氏遺跡では、平成32年度までの特別名勝庭園の再生・鑑賞化に向けて三次元データ化を行いました。復原町並では、8月27日から10月末までの毎土日祝日、県内の劇団員による「戦国城下町生活再現」を実施し、遺跡の魅力向上を図りました。</p> <p>遺跡案内方法の整理、特別名勝庭園の再生・鑑賞化に向けた管理活用計画策定業務の進め方・体制などについて福井市と協議を行い、福井市において事業化を行いました。</p> <p style="text-align: right;"><b>一乗谷朝倉氏遺跡資料館の入館者数 60,882人</b></p>
<p>○福井の遺産を日本・世界遺産へ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一乗谷朝倉氏遺跡、白山平泉寺、永平寺など中世の歴史遺産をはじめ、本県に集積する魅力ある遺産群の「日本遺産」認定等を推進します。</li> <li>ユネスコ無形文化遺産である「和紙」への早期追加登録に向け、越前和紙の技術保持団体について、教育委員会と連携し、国の重要無形文化財への指定を推進します。</li> </ul>	<p>[成果等] 引き続き実施します。</p> <p>日本遺産の第3弾の公募(国認定:29年4月予定)に、県は福井市および勝山市と共同で、一乗谷朝倉氏遺跡と白山平泉寺をテーマに認定申請を行いました。</p> <p>このほか県内では、大野市が城下町をテーマに、越前市、鯖江市および越前町が共同で伝統工芸をテーマに、永平寺町と勝山市が共同で禅文化をテーマに、それぞれ認定申請を行いました。また、越前町を含む全国の六古窯産地は共同で陶芸をテーマに、敦賀市および南越前町を含む全国11自治体は共同で北前船寄港地をテーマに認定申請を行うなど、本県からは合計6件の申請を行いました。</p> <p>越前和紙については、県指定文化財「越前鳥の子」の国の重要無形文化財指定、さらにはユネスコ無形文化遺産追加登録に向け、引き続き、教育委員会と連携し、国等に働きかけます。</p> <p>なお、「水海の田楽・能舞」、「睦月神事」についても、全国の重要無形民俗文化財の田楽を包括した「日本の田楽」としてユネスコへの推薦案件となるよう国へ働きかけます。</p>

(様式1)

項目	実施結果
<p>○豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさとの伝統的民家・まちなみ保存の拡大を図るため、「福井ふるさと百景活動団体」と「伝統的民家群保存活用推進地区」の認定・指定を継続して進めます。 (平成 27 年度(累計) 福井ふるさと百景活動団体・伝統的民家群保存活用推進地区 66 団体)</li> </ul> <p><b>福井ふるさと百景活動団体・伝統的民家群保存活用推進地区</b> 10 団体増 累計 76 団体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福井らしい特徴を持ち、歴史や風土、生活に根付いたストーリー性のある市町を超えた景観を「福井ふるさと広域景観エリア」として設定し、エリアごとに目指すべき目標と景観形成方針を設定した景観ガイドラインを策定します。</li> <li>特に、越前海岸の水仙畑等においては、重要文化的景観の選定に向けた事前調査を実施し、広域的な景観づくりを推進します。</li> </ul>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>福井ふるさと百景選定地で、夜間景観の創出や植栽、自然体験会の実施など景観の保全・活用に取り組む「福井ふるさと百景活動団体」を今年度新たに6団体認定し、その活動を支援しました。 また、伝統的民家が集積している福井らしい集落やまち並み景観の保全に取り組む「伝統的民家群保存活用推進地区」を今年度新たに4地区指定し、その活動を支援しました。</p> <p><b>福井ふるさと百景活動団体・伝統的民家群保存活用推進地区</b> 10 団体増 累計 76 団体</p> <p>ふるさと福井の象徴として発信できる、市町を超えた広域的な景観として、自然や歴史などの共通性を持つ景観資源をストーリーでつないだ6つの「福井ふるさと広域景観軸」を設定し、景観軸ごとに目指すべき目標や景観形成方針、想定される施策等を明記した広域景観ガイドラインを策定しました。</p> <p>越前海岸水仙畑の重要文化的景観の選定に向けては、水仙畑の分布状況や水仙栽培の歴史を把握するなどの事前調査を実施しました。</p>

**【実施結果の区分】**

- ・目標を上回って達成しました。(例: 成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例: 成果が目標どおり達成されたもの)  
or 目標を達成しました。(さらに強化します)(例: 数値目標を達成したが、課題が残るもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例: 成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例: 成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例: 成果を上げるためには年度を超えて実行する必要のあるもの)